

心友

第42号

障がい者支援施設「ニューライフ君田」発行

〒728-0401 広島県三次市君田町東入君357-1

Tel 0824-53-2080 Fax 0824-53-2082

年頭にあたって

施設長 増岡孝紀

新しい年を迎え、皆様の平素からのご厚情に対し、改めて深く感謝を申し上げます。

例年になく厳しい暑さが続いた昨夏、繰り返し聞かされた気象予報士の長期予報は「来年の冬は、雪が多く寒さも厳しいでしょう。」でした。「うーん。全くそのとおりだ。」とつぶやく日が連続する昨今ですが、皆様におかれては、お変わりなくお過ごしでしょうか。

平成二十三年が皆様にとって良き年となりますよう心よりお祈り申し上げます

さて、ご承知のとおり、わが国政府は「障害者の権利に関する条約」の批准に向け、現在、傘下の組織「障がい者制度改革推進会議」において、障害者基本法の抜本改正をはじめとする国内法の整備等の準備を進めています。

同会議は、昨年末にまとめた「障害者制度改革の推進のための第二次意見」の中で、その目標とすべき社会を、「インクルーシブな社会」（共生社会）

とし、「保護される客体ではなく権利の主体としての障害者」は「他の者と平等の選択の機会をもって地域社会で生活する権利」を認められるべきであるとしています。また、「いかなる障害者も通常の生活形態が保障されるべきであり、家庭から分離され、見も知らぬ他人との共同生活を強いられ、地域社会における社会的体験の機会を奪われるいわれはない。障害者に対する支援は、本来、通常の生活を根拠として組み立てられるべきである。」として、入所施設や病院から地域への移行の必然性を強調しています。

私は、この意見書を読んで、少なからず驚いたのですが、そこには、入所施設が果たすべき今後の役割や施設サービスの方角性といったテーマについての記述が全くといっていいほどなく、それらは、「地域生活への移行」という概念の中で、止揚され、淘汰される対象としてしか描かれていないということです。住み慣れた地域で生きがいを持ち自分らしい生活をしたという切実な願いを持っていても、そのための制度的基盤や社会資源といった「受け

皿」が未成熟な現実社会にあつて、施設での生活を「余儀なくされた」最重度障害者に寄り添ってきた施設職員としてみれば、読むほどに一種寂しい思いに駆られてしまうのではないでしょうか。

入所施設そのものは、確かにインクルーシブな社会が実現するまでの過渡期における現実的な存在意義しかもち得ないものかもしれません。しかし、障害者への支援をめぐる理想と現実の狭間にあつて、私たちがこれまで目指してきたものは、決して重度障害者の生活支援を専門的に行う「閉鎖的大規模施設」であつたわけではなく、可能な限りの自由選択と本人の自己実現への支援であつたことも事実であり、私たちは、これまでの取り組みを正しく評価し、自信を持って社会に訴えていくべきだと思えます。

ともあれ、「全ての障害者が、分け隔てられることなく、社会の一員として受け入れられ、合理的配慮や必要な支援の充足を通じて、障害の有無に関わらず地域社会で共に自立した生活を営むことが確保されたインクルーシブ社

会」(同)の構築が、私たちの究極の目標であることは疑いようもなく、また、最も社会から疎外されやすい最重度障害者の地域生活が保障されなくては、その実現もあり得ないわけで、その意味において、私たちの果たすべき役割は極めて重要といわざるを得ません。「どこそこでは、観測史上最大の降雪がありました。」

異常な今冬の寒さを報道するニュースを聞きながら、施設自体が「地域における選択可能な居住空間」として脱皮できるか否かが問われる時代がいよいよやってきたなという実感と、自身も新しい時代の到来にあわせ日々脱皮していかなければという思いを強くしている昨今です。

(平成二十三年一月)





プチナース

冬の便秘に注意

冬は体が冷え緊張した状態になり、腸の動きが停滞する為、便秘が増えるそうです。

そこで腸年齢チェックをしてみましょう。

1. 3日以上の便秘または時々、下痢
2. 排便後も便が残っている気がする
3. おならや排便後の臭いがキツイ
4. 朝食を摂らない事が多い
5. 肉を食べる事が多い
6. 乳製品をほとんど摂らない
7. 運動不足である
8. 顔色が悪いと言われる
9. 飲酒や喫煙の量が多い
10. ストレスが多い

該当する項目が

0〜1個の人は実年齢と腸年齢が一致

2〜3個の人は

実年齢より 10歳老けている

4〜6個の人は

実年齢より 20歳老けている

7個以上の人は

実年齢より 30歳老けている

いかがでしたか？便秘の原因とされるのは、野菜不足、運動不足、ストレス、冷えなどです。出来ることから少しずつでも改善していきましょう。

座ってできるカンタン体操

新しい年が明けてしばらくたちました。気付けば体重が...という方も少なくないはず。そこで今回は、座ったまま出来るカンタン体操をお教えします！

- ①腕降り
体を倒しながら行います。
 - ②腰ひねり
下腹を意識しましょう。
 - ③体そらし
腹筋の伸び具合を意識します。
 - ④もも上げ
背筋は伸ばして行います。
- 注意点○
・呼吸は深く、ゆっくりと。息を吐きながら体を動かします。
・動作もゆっくりと、動かしている部分を意識すると効果的です。
・空いた時間に少しずつやると長続きできます。



実習生さんが来られました

1月17日〜19日の3日間、広島福祉専門学校・保育福祉学科3年生の、岡垣裕也さんと岡田充正さんの2名が施設実習に来られました。

介護の現場は初めてと言われる2人ですが、3日間と短い実習の中、施設における仕事内容を真剣に学んでおられました。

「緊張の中にも、利用者様の優しさと温かさやかさで、楽しく実習させて頂きました。」と話されていました。

この春から社会人になれるお2人のご活躍をお祈り致します。



忘年会



皆様、あけましておめでとございます。
 新年になり少し経ちましたが、昨年12月4日に行われた「クリスマス忘年会」について報告いたします。
 ご家族のみなさまも多数来園され、利用者様と一緒に神楽や職員などの出し物を、楽しく見て過ごされました。

入所施設からは、何人かの利用者さまが、日中活動の時間を利用して練習した、「雪」の曲を歌と楽器演奏で披露されました。

全員がそろう事がたまにしかなく、限られた練習時間の中での発表になりましたが、鈴、カスタネット、キーボード、トライアングル、鳴子、歌を担当される方、それぞれみなさんの力がひとつになり、大変すばらしい歌と演奏でした。



茂田神楽団による「八幡」と「八岐大蛇」の舞い。どちらも大迫力!!

就労センター君田は、ハーモニカと合唱の披露





クリスマス

男性は力強い
ダイナミックな動き



女性は美しく
優しい動き

恒例!の職員有志による出し物では、寒い冬には負けないぞっ!!ということ、熱気とヤル気ムンムンのフラダンスを披露し、爆笑の渦に巻き込まれました。



在宅福祉部は、練習の時間がなく、ほとんどぶっつけ本番ではありましたが、歌を披露することができました。



全国障害者スポーツ大会

昨年十月に、第十回全国障害者スポーツ大会ゆめ半島千葉大会が、千葉県で開催されました。この大会に、障がい者社会就労センター三次の、渡邊哲志さんが、陸上競技選手として出場されました。



渡邊さんは、出場の感想を、「緊張はあまりしませんでした。このような大きな大会に出て普段通りの記録を出すことは、なかなか難しいことだと実感しました。」と、言われましたが結果は、
・ ジャベリックスロー 銀メダル
・ 砲丸投げ 6位入賞
と、素晴らしい成績を残されました。

また、

「スポーツに限らず、何でもですが、一人ひとりには、小さな力ですが、みんなの絆で大きな力になります。仲間がいるから結果が出せるんです。仲間が今回も、みなさんから応援していただいて、とてもうれしく思いました。」

ありがとうございます。」

とも、言われました。

渡邊さん、もつてま

すね！仲間を！

(佑ちゃん、いっしよです！)

今後も、素晴らしい仲間と共に、体に気をつけて、がんばってください。

応援しています！



温かいお心を

ありがとうございます

福原 勇雄 様

山坂 昭雄 様

NTTOB会 様

星野 いち江 様

大前 宏一 様

菊池 実 様

全国パーキンソン病友の会

広島県支部 様

一般社会法人

日本レコード協会 様

編集後記

先日の大雪により、各地では大変な被害が出ているとニュースなどで報告されています。

当施設付近では大きな被害がなかったものの、「いつ」「誰に」「どこで」ふりかかるか分かりません。こんな自然の猛威に脅威を感じ、改めて、日々の備えを万全にしておくことの大切さを確認させられました。